

大阪湾漁場環境速報

平成20年 7月 9日発行
兵庫のり研究所

(水温) 表層は湾内22~26 台で、平均23.2 。平年(過去10年平均24.1)比0.9 低く、昨年(22.3)比0.9 高い。-10m層は平均22.0で、ほぼ平年(22.1)並。表層塩分の低い湾奥部(018)で強い成層が観測された。

(塩分) 表層平均31.12psu(平年 29.89) 。-10m層平均32.16psu(平年32.05) 。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均1.4 μg-at/L、リン濃度は平均0.23 μg-at/L。窒素は、先月同様、平年(3.0)の半分程度の値で、リンはほぼ平年(0.24)並。-10m層(平均)は、窒素2.8 μg-at/L、リン0.40 μg-at/L。神戸港沖~湾奥部~大阪府沿岸・関西空港沖では、スケルトネマ、キートセロスなどの小型珪藻や多種の渦鞭毛藻が発生しており、特に湾奥部(018)では、これらによる赤潮のため海水が褐色に変色していた。透明度は1.0~7.0mで、平均5.2m。pHは表層平均8.25で、植物プランクトン大量発生域の表層では8.5~8.9の高い値を示している。溶存酸素飽和度(DO)は、湾奥部の-10m層で50%台まで低下していた。

上段(今回値)	平成20年7月8日調査
中段(昨年値)	平成19年7月6日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温()	塩分(psu)	三態窒素(μg-at/L)	磷酸(μg-at/L)
04	22.5	32.43	1.2	0.41
	23.8	31.80	2.3	0.22
05	22.0	32.19	2.5	0.37
	21.6	32.39	3.4	0.52
06	22.1	32.12	2.8	0.37
	21.3	32.37	3.7	0.51
07	22.6	31.37	2.0	0.27
	23.7	31.31	2.7	0.27
08	23.0	31.68	0.5	0.17
	24.2	30.89	1.2	0.17
09	22.4	31.98	1.1	0.28
	23.5	31.73	1.7	0.18
010	24.5	30.47	0.2	0.10
	25.3	29.83	1.2	0.15
012	23.8	30.63	0.7	0.10
	22.7	31.30	0.3	0.28
013	25.9	27.37	1.0	0.16
	26.5	26.40	3.2	0.27
016	24.9	27.25	0.5	0.17
	23.9	24.63	0.2	0.29
017	24.8	24.93	5.6	0.24
	26.0	24.78	27.7	0.36
018	26.7	19.07	1.2	0.35
	24.7	15.78	49.3	1.77
S1	25.9	17.29	33.9	0.70
	22.5	31.79	1.3	0.27
S2	22.1	31.17	0.7	0.34
	23.6	29.44	4.7	0.33
S3	24.2	29.72	3.1	0.12
	23.4	27.99	0.6	0.25
S4	24.6	27.01	5.3	0.33
	24.0	30.14	1.3	0.15
S4	21.2	32.50	3.3	0.46
	24.5	29.63	2.7	0.25
S4	23.1	32.78	1.5	0.22
	23.7	31.93	1.6	0.19



